令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
現代の国語	2	1	東京書籍「新編現代の国語」	なし
評価方法	添削指導（計６回）、試験（年２回）、面接指導（計６回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う表現力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって学ぶ力を身につけながら、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から指導育成し評価します。

・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。

・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。

・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の２つの側面を評価することが求められている。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。

②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 ４月 15 日	１　自己を見つめる こそそめスープ	読む(話す・聞く) ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。 ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導する。 筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句の表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について学んだことを

第２回 提出期限 ５月 13 日	読む（話す・聞く） ルリボシカミキリの青	・本文の内容を踏まえて、自分自身の関心についてまとめる。	理解する。 【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を収集し、伝え合う。 【主】粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を活かして自分の関心をまとめ説明しようとしている。
第３回 提出期限 ６月 17 日	２　他者に出会う 漢字と語彙 未来をつくる想像力	メディアとの付き合い方 １本文を通読して、内容を把握する。 ２「イメージの貧困」がなぜ起きるかを理解する。 ３情報と想像力の関係を論じた文章を読み、筆者の主張をつかもう。 ４メディアとの付き合い方を理解しよう。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、語彙を増やし、文や文章の中で使っている。 【主】粘り強く筆者の考える「想像力」を読み取り、実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深めようとしている。 【前期末試験】
第４回 提出期限 10 月 21 日	水の東西	「鹿おどし」「噴水」の違い １「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ２日本文化と西洋文化を対比する文章を書いてみよう。	【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主】「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自らの考えを広げようと活動しようとしている。
第５回 提出期限	評論の読み方 ３言語と生活 わかりやすい説明をしよう	やってみよう 文章の要点をつかみ要約してみよう 【原稿用紙に要約文を書いてみよう】 ①原稿用紙の使い方（ルール） ②字数制限内に整理して書く	【知技】 常用漢字の読みに慣れ、文章の中で使っている。 【思判表】 書くことにおいて、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、伝えたいことを明確に説明して工夫している。 【主】積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、

11 月 18 日			意見を書く活動をしようとしている。
第６回 提出期限 12 月９日	４視野を広げる ハサミ	漢字と語彙 左利きだからこそ見えた世間 ・エッセイを読んで、感想を話し合う。 ・「世の中の大切な見方」とあるが、筆者が気づけたのはなぜか考え、文章にまとめよう。	【知技】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主】粘り強く筆者の体験とそこから学んだことへの理解を深め、今までの学習を生かして自らの考えを広げようとしている。 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
言語文化	2	1	東京書籍「新編言語文化」	なし
評価方法	添削指導（計６回)、試験（年２回)、面接指導（計６回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から指導育成し評価します。

・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の２つの側面を評価することが求められている。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 ４月 22 日	１古文入門 読む 宇治拾遺物語 児のそら寝	読む(話す・聞く) １歴史的仮名遣いに慣れる。 ２児の気持ちの変化（児が心の中で思っている部分)を整理し、最後の描写の意味について考える。 ３古文学習のしるべ １）古文の言葉と仮名遣い 文語文法（歴史的仮名遣い）とその基礎的読み方。	【知技】 ・本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 【思判表】 「読むこと」において文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。

第２回 提出期限 ６月３日	古典に親しむ 古典の文章を音読しよう 数多くの秀作に触れて古典に親しむ。	古文の語句に関心を持って読む。 それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 １古文の代表的な作品の冒頭を音読する。 ２代表的な作品を書写する。 ３文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などに理解し体感する。	【前期末試験】 【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・繰り返し音読して古典の世界に親しみ、我が国の言語文化の特質や日本文化を理解している。 ・日本の言語文化に関心を寄せている。
第３回 提出期限 ９月９日	随想文 さくらさくらさくら	読むこと 引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 １桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 ２本文を通読し、三つの部分に分け、それぞれの話題をまとめる。 ３筆者の短歌人としての思いを理解する。 〈日本三大随筆文〉	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、語彙を増やし、言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文化的背景について理解を深める。 【主】日本独特の桜に対する感性について理解を深め、筆者の桜への思いを整理しようとしている。
第４回 提出期限 ９月 16 日	さくらさくらさくら 筆者の思いに沿って本文を読み味わう	３短歌の内容と詠まれた心情について考える。 ４筆者自作の短歌三首について、それぞれの歌の内容と詠まれた心情を考えよう。 ５各自の体験をもとに短歌を詠んでみよう。	【思判表】 「話すこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら自己の体験を短歌に詠み、作品を発表しようとしている。
第５回 提出期限 11 月 11 日	日々の思い 随筆 徒然草 「亀山殿の御池に」	古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考え方を、叙述を基に捉えよう。 見聞や経験、感想が自由に書き記された随筆には、人間の生活や自然などに対する作者の考えが表れている。結びの一文には、作者のどのような考えが表されているのか。 古文学習のしるべ３ 用言の活用について 動詞「咲く」の活用の仕方を知ろう	【知技】 古語に興味を深め、我が国の言語文化に特徴的な語の量を増し、文化的背景について理解している。 【思判表】 詠むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【主】進んで文語の決まりや古典特有の表現を理解し、課題学習に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。

第６回 提出期限 12 月 2 日	読む 羅生門 言　語 〈古典；今昔物語羅城門〉	漢字と語彙 １全文を通読し、時代背景を確かめる。 ２「下人」の内面の変化を順を追って整理する。 ３小説の主題について、自分なりに考えて発表する。 ４本文の主題「ニヒリズム」について、見解を自分なりにまとめる。 ５「下人」と「老婆」の会話を、それぞれの人物になったつもりで、役割読みする。 ６「下人」がこの後、どうなったのかを想像し話し合おう。 参照：元になった古典作品と読み比べよう。	【知技】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思判表】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
地理総合	２	１	東京書籍「地理総合」	なし
評価方法	添削指導（計４回）、試験（年２回）、面接指導（計４回）での評価			

指導目標
１）地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課 題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や 諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。
２）地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と 自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

〔評価の観点〕
評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。
（技能・知識）
・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。
（思考・判断・表現）
・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的、多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
（主体的に学習に取り組む態度）
・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 実施日 ４月22日 提出期限 5月１３日	第１編：地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第１章：地図と地理情報 第１節：私たちが暮らす世界 第２節：地図や地理情報システムの役割	１，緯度・経度 ２，地球儀と世界地図 ３，日本の位置と領域 ４，地図の種類 ５，地形図のルール ６，主題図の種類と読み取り ７，地理情報システムと地図	面接指導（～１２月２日まで） ・時差の計算について ・地図の種類と特徴について ・地形図の読み取りについて ・主題図の表現方法の特徴について ・GIS について
第２回 実施日 ６月24日 提出期限 7月１日	第２章：資料から読み取る現代 第２編：国際理解と国際協力 第１章：人々の生活文化の多様な地球環境	８，交通の発達 ９，情報通信の発達 10．国境をこえる人々の移動 11，拡大する貿易 12，つながる世界、多様化する世界 13，宗教と人々の暮らし	・交通、情報通信の発達について ・国際移動の現状について ・国際分業と産業の変化について ・国家間のさまざまな結び付きとその役割について ・世界の宗教について 【前期末試験】７月８日

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第３回 実施日 12月２日 提出期限 12月９日	２節：生活文化と自然環境（地形） ３節：生活文化と自然環境（気候）	14．山地の暮らし 15．平野の暮らし 16．海岸の暮らし 17，熱帯の人々の暮らし 18．乾燥帯の人々の暮らし 19．温帯の人々の暮らし	・河川がつくる平野の小地形について ・さまざまな海岸の地形とその利用について ・各気候帯の気候要素の特徴について （熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯）
第４回 実施日 1月13日 提出期限 1月20日	４節：生活文化と社会環境（産業）	20，食生活と農業の分布 21，諸農業の特徴 22，工業立地の特徴 23，情報産業の発達と生活文化の変化	・農業、食生活の地域差について ・工業立地の特質について ・通信産業の発展による世界の変化、産業の情報化について 【後期末試験】１月２７日

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
歴史総合	２	１	東京書籍「歴史総合」	なし
評価方法	添削指導（計４回）、試験（年２回）、面接指導（計４回）での評価			

指導目標

１）身近な事柄が、時間的な推移や空間定な結びつきの中で歴史と結びつきを持っていることを理解させる。

２）社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成する。

３）よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めさせる。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

（技能・知識）

・情報全体の傾向性を踏まえて、社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている

（思考・判断・表現）

・社会的な見方・考え方を用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している

（主体的に学習に取り組む態度）

・学習対象（社会的事象等）について、問いや追究の見通しを持って主体的に調べ分かろうとして課題を振り返り、学んだことの意味に気付いて意欲的に追究している

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 5月１３日	序章　歴史の扉 第１章　近代化と私たち １節　近代化への問い ２節　アジアの繁栄と西洋近代の形成	１：18 世紀の東アジア ２：結び付くアジア諸地域 ３：18 世紀のヨーロッパとアジア ４：市民革命と近代社会	・18 世紀の東アジアとアジア諸地域について ・18 世紀のヨーロッパとアジア、市民革命と近代社会について
第２回 提出期限 ６月24 日	２節　アジアの繁栄と西洋近代の形成 ３節　世界の一体化と多様な近代化	５：産業革命のはじまり ６：世界市場の形成 ７：自由主義とナショナリズム ８：東アジアの国際秩序の変化と日本の開国 ９：アジアの諸国家とその変容 10：明治維新と東アジアの国際関係	・産業革命と世界市場の形成について ・産業革命による社会の変化について ・東アジアの国際秩序の変化と日本の開国、アジアの諸国家とその変容について ・明治維新と東アジアの国際関係について 【前期末試験】

第3回 提出期限 11月4日	3節　世界の一体化と多様な近代化 4節　近代化と現代的な諸課題	11：立憲制の広まり 12：世界経済の変化と日本の産業革命 13：帝国主義と植民地 14：日清戦争と華夷秩序の終結 15：帝国主義諸国の競合と国際関係 16：植民地支配と植民地の近代	・立憲制の広まりについて ・帝国主義と植民地、19 世紀末～20 世紀初めの世界について ・帝国主義政策に対する世界の態度について
第4回 提出期限 1月13日	第2章　国際秩序の変化や大衆化の私たち 1節　国際秩序の変化や大衆化への問い 2節　第一次世界大戦と大衆社会	17：第一次世界大戦の展開 18：国際協調体制の形成 19：ソヴィエト連邦の成立 20：アメリカ合衆国の台頭 21：アジアの経済成長と移動する人々 22：反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 23：民主主義の進展と社会改革の動き	・第一次世界大戦と戦後の国際協調体制について ・ソ連の成立と社会主義運動の拡大、および 1920 年代のアメリカについて ・反植民地運動と民主主義の拡大について ・マスメディアの発達と大衆と国家の結びつきについて 【後期末試験】

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教　科　書	教科担当者	副教材
数学Ⅰ	3	1年	東京書籍「新数学Ⅰ」	瀧澤 収作	なし
評価方法	添削指導（計６回）、 試験（年２回）、 面接指導（ ６回 ）での評価				

指導目標　数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、他の散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

評価の観点
【主体性】
・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く柔軟に考え，数学的論拠に基づき判断している。
【知識・技能】
・数と式，2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
【思考・判断力・表現力】
・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。
・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（ 実施内容 ）
第1回 実施日 4月22日 提出期限 5月20日(水)	1章 数と式 1節 文字と式 ①文字を使った式 ②多項式と単項式	1. 文字を使った式 2. 積の表し方 3. 商の表し方 4. 単項式 5. 多項式 6. 同類項をまとめる	面接指導(～2月26日(水)まで) ・ 文字を使って表すことのよさや，表し方の約束などについて ・ 文字を使った式についての用語や，式を簡単にする方法について
第2回 実施日 5月20日 提出期限 6月3日(水)	1章 数と式 1節 文字と式 ③多項式の計算(1)	1. 多項式と数のかけ算 2. 多項式どうしのたし算，ひき算	・ 多項式と数のかけ算や，多項式どうしのたし算，ひき算の計算の仕方について
第3回 実施日 6月3日 提出期限 6月24日(水)	1章 数と式 1節 文字と式 ④多項式の計算(2) ⑤乗法公式	1. 指数法則 2. 単項式どうしのかけ算 3. 多項式のかけ算	・ 指数法則，単項式や多項式のかけ算について ・ 分配法則を用いての多項式を展開について ・ 乗法公式について ■ 前期単位認定試験【7月8日～16日】
第4回 実施日 9月9日 提出期限 10月7日(水)	1章 数と式 1節 文字と式 ⑥因数分解(1) ⑦因数分解(2) ⑧展開，因数分解のくふう利用	1. 共通な因数をくくり出す 2. 公式を利用する因数分解 3. 展開，因数分解のくふう 4. 数の計算への利用	・ 多項式を，いくつかの式のかけ算の形で表すことについて ・ x2の係数が1以外の多項式を因数分解することについて ・ 式の一部を文字に置き換えて因数分解することについて

第5回 実施日 11月4日 提出期限 11月11日(水)	1章 数と式 2節 実数 ①平方根 ②根号をふくむ式の計算	1. 平方根 2. 根号をふくむ式のかけ算，わり算 3. 根号をふくむ式のたし算，ひき算 4. 分母の有理化	・ 平方根について ・ 根号をふくむ式のの基本的な計算，分母の有理化について
第6回 実施日 1月23日 提出期限 11月20日(水)	1章 数と式 3節 方程式と不等式 ①1次方程式 ②不等式 ③不等式の性質 ④不等式の解 ⑤不等式の解き方	1. 1次方程式の解き方 2. 不等式の性質 3. 不等式の解き方	・ 1次方程式の解き方について ・ 不等式の解の意味，不等式の性質について ・ 不等式の変形，解き方について
	1章 方程式・式の照明 3節 方程式と不等式 ⑥2次方程式とその解き方 ⑦2次方程式の解との公式	1. 平方根の考えを用いる解き方 2. 因数分解を利用する解き方 3. 解の公式を用いる解き方	・ 平方根，因数分解を用いて2次方程式をとくことについて ・ 解の公式を用いて2次方程式を解くことについて ■ 後期単位認定試験【1月27日～1月28日】

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教　科　書	教科担当者	副教材
数学A	2	1年	東京書籍「新数学A」	瀧澤 収作	なし
評価方法	添削指導（計４回）、 試験（年２回）、 面接指導（４回）での評価				

指導目標　数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数学的に考察する力を養う。

評価の観点
【主体性】
・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く柔軟に考え，数学的論拠に基づき判断している。
・問題解決の過程を振り返って，考察を深めている。
【知識・技能】
・場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
【思考・判断力・表現力】
・不確実な事象に着目し，確実の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付ける。
・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 実施日 5月13日 提出期限 6月3日(水)	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 ①集合 ②集合の要素の個数	1. 集合 2. 部分集合・全体集合と補集合 3. 共通部分と和集合 4. 補集合の要素の個数 5. 和集合の要素の個数	面接指導(～2月26日(水)まで) ・ 部分集合，補集合，共通部分，和集合について ・ 補集合，和集合の要素の個数について
第2回 実施日 6月17日 提出期限 7月1日(水)	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 ③個数の考え方 ④和の法則と積の法則	1. 個数の数え方 2. 和の法則 3. 積の法則	・ 場合の数を樹形図や表に整理して調べることについて ・ 和の法則，積の法則について ■ 前期単位認定試験【7月8日～16日】
第3回 実施日 11月11日 提出期限 12月9日(水)	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 ⑤順列 ⑥順列の利用	1. 順列 2. n個のものをすべて並べる順列 3. 条件のついた順列	・ 順列の考え方について
第4回 実施日 12月9日 提出期限 1月13日(水)	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 ⑦いろいろな順列 ⑧組合せ ⑨組合せの利用	1. 重複順列 2. 円順列 3. 組合せの性質 4. 組合せの利用	・ 重複順列，円順列の意味について ・ 組合せの意味や性質について ■ 後期単位認定試験【1月27日～1月28日】

令和８年度　　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
科学と人間生活	2	1 年	東京書籍「科学と人間生活」	なし
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），　面接指導（年　9　回）での評価			

指導目標

〇自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けさせる。

〇観察，実験などの基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録、整理する方法を明確にし、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けさせる。

〇自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，根拠を基に導き出した考えを表現させる。

〇自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとさせる。

（評価の観点）

【知識・技能】自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】〇自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，根拠を基に導き出した考えを表現している。

【主体的に取り組む態度】自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている.

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　　22 日	1編　生命の科学 1章　微生物とその利用	1　さまざまな微生物 A　身のまわりの微生物 B　生態系における微生物のはたらき C　窒素と微生物のはたらき D　水中の微生物のはたらき	面接指導（～１月１３日まで） ・微生物の存在と人間生活との関わり ・微生物の分解者としての役割。 ・生態系における微生物のはたらき。 ・微生物を利用した環境の浄化。
第　2　回 提出期限 5 月　　20 日		2　私たちの暮らしへの微生物の利用 A　食品と微生物 B　発酵のしくみ C　微生物の発見の歴史 D　医薬品と微生物	・発酵や腐敗と微生物のはたらき。 ・アルコール発酵の仕組み。 ・乳酸発酵の仕組み。
第　3　回 提出期限 7 月　　1 日	2編　物質の科学 1章　衣料と食品	1　衣料の科学 A　繊維の種類と性質 B　生物からつくられる天然繊維 C　石油からつくられる合成繊維	・繊維の種類とそれぞれの用途。 ・植物繊維と動物繊維。 ・合成繊維とモノマーとポリマー、重合。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　16 日	2編　物質の科学 1章　衣料と食品	2　食品の科学 A　体に必要な栄養素 B　脂質の性質 C　炭水化物の性質 D　タンパク質の性質	・三大栄養素とカロリー。 ・油脂の構造と性質。 ・高分子化合物とアミロースとアミロペクチン。
第　5　回 提出期限 10 月　　14 日	3編　光や熱の科学 1章　光の性質とその利用	1　光の進み方とその基本的な性質 A　光の進み方 B　光の分散 C　光の回折と干渉 D　偏光	・異なる物質の境界面での光の反射・屈折。 ・光の分散とスペクトル。 ・回折と干渉。 ・偏光。
第　6　回 提出期限 11 月　　11 日		2　目に見える光と色の見え方 A　さまざまなスペクトル B　光の3原色と色	・連続スペクトルと線スペクトル。 ・光の３原色や人の視覚。
第　7　回 提出期限 11 月　　18 日		3　目に見えない光とその利用 A　電磁波の利用① B　電磁波の利用②	・電磁波の種類と性質。 ・電波やX線、ガンマ線の性質とその利用。
第　8　回 提出期限 12 月　　2 日	4編　宇宙や地球の科学 1章　自然景観と自然災害	1　身近な自然景観の成り立ち A　移り変わる地球の景観 B　山地や低地のでき方 C　火山がつくる景観 D　太陽のエネルギーがつくる景観	・プレート境界に海嶺や海溝、山脈。 ・断層運動によってできた地形。 ・防災のための取り組みの必要性。
第　9　回 提出期限 1 月　　20 日		2　自然災害と防災 A　自然災害とは B　地震による災害 C　火山による災害と防災 D　気象災害・土砂災害と防災 E　自然災害との付き合い方	・自然現象と災害。 ・自然災害と人間生活との関わり ・防災への取り組みの重要性。 ・自然災害から受ける被害を抑えるための一人一人の心構えと行動。

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
体育	3	1 年	大修館「現代高等保健体育改訂版」	なし
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年　2回）面接指導（年　15　回）での評価			

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向け た学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増 進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。

（1）各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理 解するとともに，技　　能を身に付けるようにする。

（2）運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向 けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

（3）生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を 目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

（評価の観点）

【主体性】・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、主体的に取り組もうとしている。

【知識・技術】・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動きとしての技能という状態で発揮されることなどへの理解を深めることができるようにしどうする。

【思考・判断力・表現力】・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えることができるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１～第５回 提出期限 6 月　　3 日	・春季遠足	・大自然の中でウォーキングとグループワーキング ・スポーツの始まりと変遷（遠足欠席者）	面接指導（～1月14日まで） ・簡易体操とウォーキング ・競技スポーツばかりではなく体作り運動なども含めた変遷
第6～第7回 提出期限 7 月　　8 日	・バスケットボール	・バスケットボールのルール理解と基本動作	・基本的動作から運動能力向上
第８回 提出期限 10 月　　14 日	・体力トレーニング	・柔軟性トレーニングの必要性理解する	・柔軟性トレーニングの実践

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第9～第13回 提出期限 10 月　21 日	・秋季遠足	・大自然の中でウォーキングとグループワーキング ・文化としてのスポーツ （遠足欠席者）	・簡易体操とウォーキング ・文化としてのとらえ方と、オリンピックとの結びつきについて
第 14 回 提出期限 11 月　4 日	・バドミントン	・バドミントンのルール理解と基本動作	・基本動作から対人練習 ・ダブルスの試合でのルール理解と審判
第 15 回 提出期限 11 月　11 日			

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
保健	1	1 年	大修館「現代高等保健体育改訂版」	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（年２回），面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

保健の見方・考え方を働かせ、理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能 力を次のとおり育成する。

（1）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

（2）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

（3）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

（評価の観点）

【主体性】

健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【知識・技術】

免疫・遺伝・生活行動などの主体要因と、自然・経済・文化・保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解する。

【思考・判断力・表現力】

国民の健康課題について、健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づき分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　20 日	１単元 現代社会と健康	１．喫煙の影響 ２．喫煙への対策	面接指導（～１月１３日まで） ・喫煙による影響を理解させる。 ・個人と社会での喫煙対策の仕方を学ぶ。
第　2　回 提出期限 12 月　　9 日	１単元 現代社会と健康	１．飲酒の影響 ２．飲酒への対策 ３．薬物乱用の影響 ４．薬物乱用への対策	・飲酒による体への影響を理解させる。 ・飲酒による健康対策を学ぶ。 ・薬物乱用による影響を理解させる。 ・薬物乱用への対策の仕方を学ぶ。

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書　【教科担当者：白岩 貢】

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
音楽Ⅰ	2	1 年	大修館 「音楽Ⅰ改訂版Tutti＋」	なし
評価方法	添削指導（計9回）、試験（年2回）、面接指導（年9回）での評価			

指導目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性につい て理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に 付けるようにする。（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

（評価の観点）

【主体性】・主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度が養なわれている。

【知識・技能】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な知識・技能を身につけている。

【思考・判断力・表現力】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考え、表現意図を明確に持ったり、音楽や演奏の価値を見出して鑑賞したりすることができる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 実施日5/20 提出期限 5 月　20 日	①日本の歌を歌おう ②五線と鍵盤の位置	・学園歌 ・ト音記号 ・五線上での音名①	・学園歌の歌詞の確認、音取り ・大譜表上での音の位置 ・鍵盤上での音の位置
第　2　回 実施日6/3 提出期限 6 月　3 日	①日本の歌を歌おう ②五線と鍵盤の位置、音楽記号	・浜辺の歌① ・強弱記号、速度記号 ・五線上での音名② ・ヘ音記号	・浜辺の歌の音取り、歌唱 ・強さや速度を指示する記号 ・鍵盤上での音の位置 ・ト音・ヘ音譜表上での音名確認
第　3　回 実施日6/17 提出期限 6 月　17 日	①日本の歌を歌おう ②調と拍子 ③速度記号と変化	・浜辺の歌② ・強弱記号、速度記号 ・半音と全音 ・臨時記号	・浜辺の歌の歌詞と意味、歌唱 ・スラ―、調性、シャープとフラット ・鍵盤上での音の位置 ・ト音・ヘ音譜表上での音名確認

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 実施日6/24 提出期限 6 月　24 日	①日本の歌を歌おう ②臨時記号、音の高低	・学園歌の復習、確認 ・シャープ、フラット、ナチュラルの役割	・学園歌の書き取り ・音の高低、全音と半音 ・鍵盤上での音の位置 【前期末試験】
第　5　回 実施日9/16 提出期限 9 月　16 日	①イタリア語の歌を歌おう ②音符の長さと役割	・O sole mioの音取り ・イタリア語の読みと歌詞の意味 ・音符と休符	・O sole mioとカンツォーネ ・イタリア語の単語の意味 ・単純音符と付点音符、休符
第　6　回 実施日10/7 提出期限 10 月　7 日	①ドイツ語の歌を歌おう ②音符と休符	・ドイツリートについて ・野ばら ・音符と休符の長さ	・シューベルトの功績とリートの成立 ・ドイツ語の発音と意味 ・音符と休符の長さ、付点の意味
第　7　回 実施日10/21 提出期限 10 月　21 日	①世界の民謡と歌曲 ②「声」という大切な楽器	・発声の仕組みと体の使い方 ・ピアノとフォルテ、音量を変化させる記号	・振動と共鳴について ・骨格と筋肉の役割 ・ピアニシモからフォルテシモまで ・クレッシェンドとデクレッシェンド
第　8　回 実施日11/18 提出期限 11 月　18 日	①日本の歌を歌おう ②臨時記号、音の高低	・ふるさとの歌唱 ・演奏記号 ・反復記号	・音の強さの変化 ・演奏記号の意味と役割 ・反復記号の意味と役割
第　9　回 実施日12/2 提出期限 12 月　2 日	①ベートーヴェンの交響曲の魅力 ②様々な作曲家と代表曲	・ベートーヴェンの交響曲 ・「第九」の鑑賞 ・古典派とロマン派の作	・交響曲とピアノソナタ ・第九が持つ歴史的意味と日本における特殊性 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書　教科担当者　對馬理夫

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
英語コミュニケーションⅠ	3	**1年**	All Aboard！　東京書籍 English Communication Ⅰ	なし
評価方法	添削指導(計 13 回)，試験(年２回)，での評価			

指導目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という) 別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

必要な情報を読み取り、書き手や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に捉えたりすることができる。

(評価の観点)

【主体性】書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好みなど、その理由を書いたり伝えようとすることができる。

【知識・技能】各文法を用いた文の形・意味・用法を理解する。

【思考・判断力・表現力】知識を基に、情報を整理・分析し(思考)、妥当性を評価して答えを導き(判断)、他者に伝える(表現)能力を自ら考えることで養われるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第１回 実施日 4/15 提出期限　５月７日	Pre-Lesson1,2 Be 動詞,一般動詞の違い Lesson 1 Breakfast around the world 私の朝ごはん	Be 動詞・一般動詞の文 平叙文/否定文/疑問文 過去形 Be 動詞の過去形 一般動詞の過去形	演習問題レポート No.1
第２回 実施日 5/13 提出期限　５月 21 日	Lesson 2 Australian's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物	進行形 現在進行形 過去進行形	演習問題レポート No.2

第 3 回 実施日 5/20 提出期限　5 月 27 日	Lesson 3 Life With Spade 愛馬とともに	助動詞 　can を用いた文 　wlll を用いた文	演習問題レポート No.3
第 4 回 実施日 6/3 提出期限　6 月 17 日	Lesson 4 A Miracle Millor 夢のような絶景	to 不定詞 　名詞的用法 　副詞的用法 　形容詞的用法	演習問題レポート No.4
第 5 回 実施日 6/17 提出期限　6 月 25 日	Lesson 5 A Dream Engine 博多工業高校自動車工学科	動名詞 　主語・補語・目的語に 　なるもの/前置詞の後 　ろにくるもの	演習問題レポート No.5 7/9【前期 期末考査】
第 6 回 実施日 9/9 提出期限　9 月 16 日	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	受け身 　by を用いる場合 　by 以外を用いる場合 　知覚動詞	演習問題 レポート No.6～7
第 7 回 実施日 9/16 提出期限　9 月 24 日	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク	比較表現 　比較級 　最上級 　原級	演習問題レポート No.8
第 8 回 実施日 10/7 提出期限　10 月 22 日	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ	現在完了形 　現在分詞 　過去分詞	演習問題レポート No.9
第 9 回 実施日 11/4 提出期限　11 月 11 日	Lesson 9 Ghosts in the Oceans 海に潜むゴースト	分詞の形容詞的用法 　現在分詞 　過去分詞	演習問題レポート No.10
第 10 回 実施日 11/18 提出期限　12 月 2 日	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物	関係代名詞 　who 　which	演習問題レポート No.11
第 11 回 実施日 12/2 提出期限　12 月 9 日	演習問題を中心に実施	be 動詞/一般動詞 代名詞/形容詞/副詞	演習問題レポート No.12
第 12・13 回 実施日 12/9 提出期限　1 月 28 日	演習問題を中心に実施	命令文/助動詞/代名詞 現在完了形 現在完了進行形	演習問題レポート No.13 1/28【後期 期末考査】

青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
総合的な探究の時間	1	1 年	なし	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（なし），　面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の 在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を 次のとおり育成することを目指す。

１）探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。

２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

3）探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

（評価の観点）

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

（技能・知識）・現実社会の諸課題の解決に向けて、その原因や背景、要因を探求するための手がかりとなる知識を見付けるとともに、様々な手段を用いて研究に必要な諸情報を適切かつ効果的に収集できる手法を身に付けている。

（思考・判断・表現）・探究活動を通して、現実社会の諸活動を多様な視点から分析し、その原因や解決への取り組みを導き出し、導き出した結論を証拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、実現したりすることができている。

（主体的に学習に取り組む態度）・現代の諸課題を考察し、その課題の解決に向けての方策を主体的に追及しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回	LHR	学校生活について	・学校生活のきまりについての確認 ・授業、レポートについての確認 ・欠席に関しての確認
第　2　回	自己の生き方を考える	高校卒業後の進路	・高校卒業後の進路の選択肢について ・進学することのメリットとデメリット ・就職することのメリットとデメリット ・自身の高校卒業後の生き方について考える。